

文化情報

あなたが
主役!!
ふるさと
文化!!

1995年(平成7年)3月1日(季刊)
第6号

発行所
財団法人 中條文化振興財団

〒760 高松市中央町5番28号 青井ビル4階
TEL・FAX (0878) 34-6790



井原理事も書いておられたが、最近、「文化の時代」という言葉がよく聞かれる。終戦直後、日本人が皆飢えていた時代、

などの文化施設の建設に力を入れた。その結果、現在、公立美術館が百館ぐらい出来ている。これに私立のものを加えると、美術館と称するものが、日本全国に数百館はあるはずである。そして博物館はといえば、三千館程あるのである。

コレクション展は極端な例であるが、人込みの中で、前の人の頭の間から見なければならぬ程に入場者がなければ、展覧会は赤字なのである。入場者が落ち着いて、「文化的な雰囲気」の中で、美術を鑑賞することが出来、それで、なおかつ美術館が経済的にやって行けるようにはならないも

「文化の時代」と文化振興

財団法人 中條文化振興財団

副理事長 木村 等

(高松市美術館長)

雑炊をすすりながら「九谷焼はすばらしいね」というようなことを言っているも仕方がないと思っただのであるか、日本人は一所懸命働いた。そのおかげで、今や我が国は経済大国といわれるまでになった。

いのであるが、これ等の数から考えても、文化施設は、我が国では相当整備されているといっているのではあるまいか。そうしてみれば、今は、正に文化の時代なのである。

のであるか。価値観が多様化し、人の興味も多岐にわたっている今日、美術館のこ

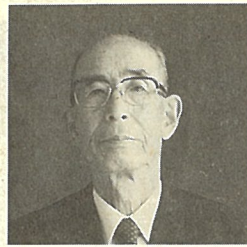
▼全く予期せぬ地災とその被害の大きさに関わらず、人びとは冷静な判断・行動と見事な対応を伝えていける▼そんなニュースのなかで、地震の予知・防災・避難救助などの不満と責任を問う発言をよく聞く▼天変地異の状況下で、それぞれの任にある者への非難である▼果たして任にある者の怠慢であったのだろうか。非難よりも「善処」することへの発言が大切なのではないか▼宇宙自然の神秘はまだ深く、未知の謎は果てしない。▼「天にツバする」ことよりも貴重な体験を生かすことへの全力投球の時である▼それにしてもモノのモロサを眼のあたりにマザマザと見せてくれたものである。⑨



二月十七日早朝以来、マスコミは「阪神大地震」のニュースに終始している

伝統芸能と今日文化

意欲的に多彩な活動



会長 青木 恪三郎

●概要

香川町には江戸時代より長く受け継がれた伝承芸能の農村歌舞伎や、天下の奇祭ひょうげ祭(県指定の無形、有形文化財)があり、また芸能的に優れた東谷地区のチャラチャン踊や、浅野地区の舟岡大獅子保存会等が、活躍していた。

ところが戦後の混乱の中、止むなく活動を停止して、長い間休眠状態が

続いたのである。

昭和三十年代となって世相が漸く落ち着いた頃、各地域公民館活動の一環として芸能、音楽、書道、華道、文芸、民芸、邦楽、吟詠等の文化教室が開設されるようになり、加えて町教育委員会の指導と助言もあって、それぞれ保存会や同好会等を結成して、組織的に活躍することとなった。

香川町文化協会は、当時の関係三十六団体を母体として、昭和五十一年三月に創設した。

協会は団体会員と個人会員の二本建てで構成され、現在は十八部会を設けており、選ばれた部長が分担して会務を分

掌している。

●香川町文化祭の経過

①当初の文化祭は、文化協会が主催して実施したが、参加者が限定されるため小規模な催し事に終らざるを得なかった。

②その後、町教育委員会との協議に基き、教育委員会の主催(三日間)に改められた。

③更にその後、行政側と関係団体(学校、老人施設等を含む)の総てが一体となり、住民総参加による一大イベント行事として実施しようという

ことになり、町の主催行事にまで発展した。日程は従前同様三日間である。実施に当たっては事前

に企画委員会において、基本的な事項を検討し、町長の諮問に答申する仕組みとなっている。

文化協会は、郷土芸能まつり等演芸部門の出演、演出構成及びプログラムの編成と展示部門の管理等を分掌している。

主たる部門は次の通り。
演芸、音楽会(コーラス及び小中学生徒児童を含む)、カラオケ大会、実演(餅つき大会等)、プレゼントコーナー、即売コーナー、バザーコーナー、チャリティバザー、献血等。

④外部団体等との交流 ●直島町文化協会との交流「海を渡る芸能文化のあい」をテーマに、両町持廻りで年一回実施平成七年度第五回(参加者約百二十名程度)

●平成三年度県民生部企画による「三世代交流フェスティバル」を香川町で実施された時は、町文化祭はこれに合体して

実施成功した。(参加延人員約九千五百名)

●香川県高等学校文化連盟との交流。同連盟との合同公演を平成三年以降三回町文化祭の日に実施している。参加校、琴平高、農経高、高松北及び南高、津田高、観音寺第一高校等から出演、吟剣詩舞、書道吟、民踊、和太鼓等見事な演技を披露し、好評を博した。(参加延人員約七千名)

●香川国際交流協会が中国から招いた「琵琶音楽の夕べ」に文化協会は、大正琴の友情出演にて、国際交流にも寄与した。



文化の薫り高い町

をめぐりながら

た。

●組織と財政

現在、加入団体は、四十八団体、会員延べ人員は約千名に至っており、美術部、文芸部、芸能部、生活文化部の四部門に各団体を分け、行事によつては、部会を中心にした活動を行うとともに、部会内外の連絡、調整を行っています。

生涯学習気運の盛り上がりとともに、近年、新規加入する団体が増え、平成六年度は、町文化会館がオープンしたことも手伝い、美術部一団体、芸能部七団体、生活文化部一団体が新規加入しました。

財政面では、協会予算九十四万円で活動を行っています。

収入としては、町補助金六十万円、加入団体からの会費二十万円（一団体五千円）等が主なものです。支出としては、年一回発行の機関誌「文協とよなか」印刷代九万円、芸能大会に三万五千円、県外視察研修（一日日帰り）助成として十六万円、各団体への活動助成として四十万円（一団体一万円）が主なものです。

●活動の状況

会発足当時から行っている文化講演会を始めとして、活動を充実したものにしてきました。

〈芸能大会〉

芸能部が中心になり、芸能大会を行っています。

六年度は、四十七曲目延べ約百二十名が出演し、一般の方も楽しみにしている人が大勢います。

〈視察研修〉

会員相互の親睦、活動の発展のために、四年度から県外へ視察研修を行っています。

四・五年度は、徳島県の阿波踊り、高知県のよさこい祭りを視察し街中熱気に包まれた、イベントを堪能しました。

本年は、岡山県備前市周辺に行き、伝統工芸を見て来ました。

〈文化講演会〉

町民の文化意識の高揚と活動の活発化のために、文化協会発足当時から文化講演会を行っています。

今までは、西讃文化協会連絡協議会長の河野虎雄さん、一弦琴奏者の大西一敏さん、海外在住経験の豊富な嶋田唯行さ

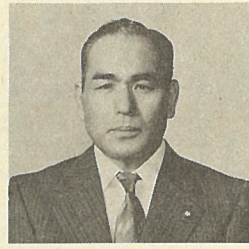
ん、写真家の安川満俊さん、元香川短期大学長の小倉胤雄さん、RNC西日本放送アナウンサーの蓮井孝夫さん、琵琶奏者の田原順子さん、元行司の第二十四代式守伊之助さんの皆さんに講演をしていただきました。

〈町文化祭〉

町内で行われている生涯学習（各種文化活動）の成果の発表の場として、町文化祭（主催・豊中町）を毎年十一月の文化の日前後に行っていますが、文化協会員も団体単位で出品、出演をしています。また、教育文化祭と同時開催のため、一般の人々が多数来場します。

〈機関誌の発行〉

文化協会活動を広く知ってもらい、地域の文化活動の振興のために、町内全世帯に機関誌「文協とよなか」を配布しています。



会長 大西 昇

●発足

豊中町文化協会は、健全な文化の発展と会員相互の親睦を図ることを目的に、それまで町公民館に登録していた文化同好会を中心として昭和六十一年九月に結成されました。

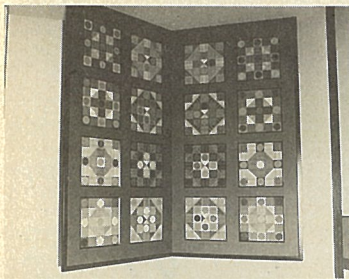
また、六十三年には、香川県西讃文化協会連絡協議会に加入し、活動、交流の場を広げてきました。

サークル
紹介

香川染織会

輪の広がりを求めて

香川県は古くから染織の基盤はあったものの発展、振興が遅れておりました。何とか県内で初めてまとまった染織展が開催出来ないものかと願っておりました。そんな時、県の染色の第一人者でもある当時（昭和52年）香川大学教授でありました染色デザイナーの石井輝夫教授に働きかけ、その御好意をいただき、同志が集まり、県出身の染織家達への呼びかけが始まり



ました。そして昭和55年第一回の香川の染織十一年展が県の文化会館で開催出来た喜びと興奮は今でも忘れる事が出来ません。所属団体を越え、仲間良くはげまし合いました。個性と共に幅広いジャンルの作品が七十点近く集まりました。

数年に一回で過去三回展迄進みましたが、四回展を迎えねばなりません。この呼びかけから、研究団体として染織工芸の研鑽を深め又染織を志す者同志の親睦を目標に「香川染織会」が誕生しました。県工芸研究所に勉強の場を与えていただけた事は大きな収穫と嬉しく感激して居ります。次に会の中核になっていく人達を紹介致しますよう。型染の石井輝夫名

誉教授、先にも書きましたが、会が出来あがる迄のアドバイス等、やさしい温厚なお人柄に助けられました。日展入選多数、作品日展お買上げ等、先般、勲三等旭日章を受賞されました。

工芸高校の小西博子教諭も型染、日工芸所、特に屏風の中に自分の生活内面を抽象的に表現、染め付けられ、日展にも入選の快挙を遂げられています。

手織の後藤のり子さん。工房では生徒の指導、そして創作は主にタピスリー、モダンアート協会所属、「むすび」をテーマに、力強い大胆な織と豊かな色彩がこぼれ出る迫力にいつもこんなスマイルな体から、どうして：と感心しております。

友禪染の香西康子さん。もっぱら着物を製作、現在、京都の森口邦彦氏に指導を仰ぎ、益々熟練され、自然をモチーフに、幾何学模様は美しく整えられ、色彩の柔らかさは人柄を思わせます。

紬織の古井敏博氏。美大時代から着やすいきもの創りを目標とし、繊細な織目は植物染料ならではの優雅な色彩を出し気品を感じさせます。個展に力を入れ、評判を呼んでいます。

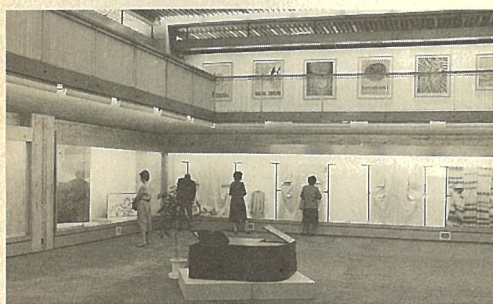
日本皮工芸会所属の吉田浜子さん。生徒の指導、その作品はパネルが主で、器用な手さばきは定評があり、素材の皮を上手に生かし、テーマの鳥を独特の卓越した表現技法は観る者を引き込ませます。

最後に私こと佐竹藍月（雅子）。日本染織作家協会に所属、手絞りの解く糸の染足に魅せられ、今年還暦を迎えました。特

に着物（訪問着）を染めています。日本伝統の手絞りの中に創始した独自の「すなご染」を施し、華やかさを求めたものです。NHK学園、新聞社等で生徒の指導をしながらの創作活動です。

さて四回展を目指さねばなりません。個々には発表の場を持ちながらの生活ですが、会としてまとまって更に輪を広げねばと痛感する次第です。

香川染織会世話人代表
（佐竹藍月）



陶芸作家
長町 天道氏

「岩象嵌研磨彩」を生み出す

独力で生み出した「岩象嵌研磨彩」の技法は、陶（綾南町）と信楽（滋賀県）の土を混入した肌、異質の土や岩石粉を埋め込み、焼締めと研磨を繰り返して仕上げられる。細かくても異質のものは、焼成過程で裂け目になりやすく、作品を台無しにしてしまう。

試行錯誤の作品が完成した。昭和五十九年の日展に初入選を飾った「大地」シリーズの花器は、夕暮れの景色を連想させて、彼のロマンチックな一面をうかがわせる。

長町天道、五十二才。四十年近い芸術の世界を負けず嫌いで渡ってきた。

「自己満足すると

成長が止まる」

大川郡大内町の与田川

にJR高徳線が架かる。東岸を少し下ると道沿いに小さなお地藏さんが鎮座する。その辻に長町稔さんの居を兼ねた誉水焼窯元・天道窯がある。

自身の更なるものを求めるというのが口癖で、有言実行の創作生活は終



いと

点の無い道で行き暮れるばかりとニガ笑い。「やったかな」と思う作品のできた夜は、それを枕元に置いて寝るといふ。喜びを隠しきれない子供のよう、ほほえましい表情の話もあった。

ところが、朝にはもう嫌いな面が目について、

と心細い話に戻る。何ともしんどい創造と

破壊の繰返しを、本人は楽しい苦しみだと表現するので、聞いているこちらはずっかり戸惑ってしまった。

「女房は辛抱強くて、

感謝している」

売らんがための作品は無難さを求めて、どうしても妥協が生じる。しかし、それを嫌って孤高を守ると生活が成り立たない。霞を食って生きるわけにもいかない。

苦勞を知ってる人は強いつか、信用できるとか世間はそれなりな賛辞を惜しまないが、理想と現実の間でバランスを取るのには、奥さんの笑顔も知れない。女房はよくやってくれますよと、テレビの男は他人事みたいで顔で、奥さんをいたわって感謝する。

理想主義者の亭主は、

芸術と経済の間で苦悩して、なお、貧乏を取る。女房に報いるのは、次の作品の出来栄えであるう

「最近の陶芸界は、女性が元気がいいです」

土練り三年、釉八年、ロクロくるくる十三年といわれた修業の世界もスビード・アップされて、習い始めてその日にでも型らしき物ができるとき世である。

趣味で楽しむ人もプロをめざす人も、最初はみんな素人。カルチャー教室に通い始めて病みつきになる生徒の中に、キラツとするものを発見するのが、教える側としては最大の楽しみ。

教室の生徒も美術展の鑑賞客も、最近は大倒れの女性が目立ち、女性感覚はすばらしい。それはそれで喜ばしいのだが、男性の元気がないことが

気にかかると、現代世相を長町さんは一言。

「窯出しはその度に、感動しますよ」

図式の与えられた作業は出来て当たり前、自分が新しいものを仕掛けてする仕事の世界を身上としてさえ、自然の力には叶わない。酸化と還元の炎の芸術は思わぬ展開を見せ、窯出しの感動はいつも新鮮だと話に力が入る。未知なる発見は、試みに冒険や苦勞があればあるほど、その展開は嬉しいとか。

自然の妙味に魅せられる。だからこそ、長町さんは感動して、陶芸に挑戦を繰り返して、追及し続けていくのだろう。故郷讃岐にこだわった夢がどんな作品につながるか、周りの注目も大きい。

お訪ねして「感動」という言葉を新たにした。

(妹尾 共子)

文化の器

とらまる座

大川郡大内町西村1155(とらまる公園内)
TEL (0879) 25-0400

とらまる座は大内町の中心に近い風光明媚なとらまる公園の一角に、平成四年九月六日に誕生した。

来園者によく聞かれることは、名前のいわれであるが、名前は公園の南に聳える町のシンボルにもなっている、虎丸山から取り、ひらがなに置き換えただけである。そのためか来園者には親しみ易く、覚えやすいようである。同じように公園、図書館もとらまるを使用している。

とらまる座は「はぐくもう夢、育てよう豊かな

心、ここは未来の宝箱」をキャッチフレーズに開館以来定期的に人形劇を上演している。

劇場が誕生して二年六か月、客席数二百四十五席の田舎の小さな劇場であるため、初めは人々に名が知られなくて、人形劇のパンフレットを送付するも、人形劇そのものに馴染が薄いのか、関心が無いのか、観劇者は少なく、集客を図るのに苦慮した。又役所の職員が今までに経験したこと

内案内の不手際・お客様の接客態度等が行きとどかず不満を持って帰られた日々が続いた。そのうち劇団の方やお客様の指導のもと、対応の方法を学び、接客態度に心掛けているところである。

平成四年九月「とらまる座」オープンの時に人形劇団の方々にご理解とご協力をいただき、劇場での公演終了後、明け方

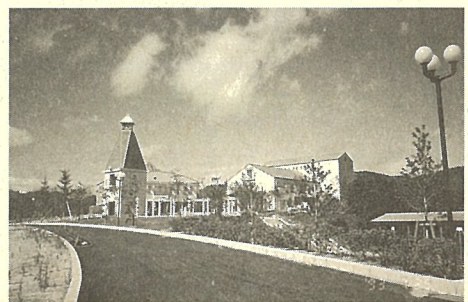
花咲か爺さん



近くまでの時間をかけて人形劇のハイビジョンソフトを八本収録し、現在月曜日、年末年始の休館日と、人形劇公演日を除き土、日曜日の定期上映と、二十名以上の団体予約は二百二十インチの大画面で人形劇も鑑賞できるハイビジョンを備えている。今年で十一回を迎える我が町の一大イベントの一つである「レクリエーションと人形劇のカーニバル」も

「とらまる座」を中心に二日から三日、各施設を使用して人形劇を上演し、お年寄りから幼児まで、幅広い年齢層に人形劇を楽しんでもらっている。

平成六年度の人形劇の定期公演回数は九十三公演、七年度は九十九公演を予定している。この文章が活字になる頃は七年度のパンフレット



も出来上がり、子どもたちにも夢を届けることが出来るかと思う。劇場の本来の目的である、地元のアマチュア劇団の育成は、牛歩のごとくではあるが、カーニバルに上演する劇団と今年で三回めを迎える「影絵劇団とらまるーん」が着実に一歩を踏み出している。これらが定着していくと、花を咲かせ、実を結び、文化のかおり高い町の人形劇場として、「とらまる座」は大きく発展して行くであろう。

第29回モービル 児童文化賞受賞

大内人形劇場

とらまる座

無い観劇者からお金をいただくの「ありがたうございます」の一言・場

催し物情報

●香川県民ホール ☎(0878)23-3131

- 3/1・2 榎原敬之コンサート (有)
 3 松竹名作歌舞伎舞踊公演 (有)
 4 小田和正コンサート (有)
 7 長寿社会を考える文化講演会 (無)
 11 コープかがわ、親と子春のコンサート (有)
 14 ダン・タイ・ソンピアノリサイタル (有)
 22 都はるみコンサート (有)
 24 中村美津子コンサート (有)
 29 向井千秋講演会「仕事場は宇宙」 (無)
 4/2 金子ジャズバレエ第5回発表会 (有)
 4 中島みゆきコンサート (有)
 7 日本音楽の鑑賞 (有)
 14 劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」 (有)
 21 さだまさしコンサート (有)
 23 喜之会公演 (有)
 25 「幸せの道行」公演 (有)
 27 カロリン・カールソン&バリアトリエ舞踊団公演 (有)
 30 HOUND DOGコンサート (有)
 5/2・3 香川県琴城流大正琴演奏会 (無)
 9 やしきたかじんコンサート (有)
 14 J-WAIIKコンサート (有)
 20 パリス・マンチョコンサート (有)
 21 フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団公演 (有)
 24 谷村新司リサイタル (有)
 27 ミヤコ蝶々特別公演 (有)

●香川県文化会館 ☎(0878)31-1806

- 3/9・10 一流流いけばな展(前期) (有)
 11・12 〃(後期) (有)
 4/22~5/14 井上員男展 (有)
 5/20~6/4 第34回日本現代工芸美術展 (有)

●綾上町 ☎(0878)78-2305

- 3/26 綾上町文化祭(綾上町農村環境改善センター)

●大内町 ☎(0879)25-2111

- 3/10 しあわせづくりの集い(コンサート他) (無)
 -大内町立文化センター(0879)25-2111
 3/16 中三公まつり(展示・発表) (無)
 -大内町立公民館(0879)24-0945

●大野原町中央公民館 ☎(0875)54-3111

- 4月下旬 大野原町文化財保護協会総会
 -大野原町中央集会場
 5/14 文化財保護協会三豊支部総会-仁尾町

●観音寺市民会館 ☎(0875)23-3939

- 3/1 郷土文化大学 (有)
 3 劇団四季ミュージカル「冒険者たち」 (有)
 5 みとよ民謡まつり (無)
 6 明治青年大学 (有)
 11・12 岳風会四国連合吟道大会 (無)
 21 春風の贈り物コンサート (有)
 4/8・9 西野ダンス&マイム研究所発表会 (無)
 5/10 明治青年大学 (有)
 20・21 華道家元池坊三豊支部花展 (有)
 28 劇団飛行船公演 (有)

●坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 3/12 さぬき民謡まつり (無)
 5/20 一人芝居「チョゴリを着た被爆者」新屋英子 (有)

●志度音楽ホール ☎(0878)94-1000

- 3/4 「いきいき女性のつどい」上沼恵美子講演会 (有)
 5 劇団プチミュージカル公演95「PiCO」 (有)
 26 親子映画会(ドラえもん) (有)
 4/23 「ハイドン・ミニフェスティバル」 (有)
 -ハイドン室内管弦楽団公演
 5/13 親子映画会(クレヨンしんちゃん) (有)
 28 志度音楽ホール少年少女合唱団リサイタル(予定)

●白鳥町 ☎(0879)25-4111

- 3/26 作品展・歌・踊り・大正琴発表会-白鳥公民館
 5/5 白鳥神社演武大会-白鳥神社

●普通寺市民会館 ☎(0877)62-7001

- 5/7 南部公民館まつり (無)
 21 第2回香川県歌謡グランプリ (無)
 24 カップ座公演 (無)

●普通寺市郷土館 ☎(0877)63-6329 注:祝日閉館

- 4/18~5/31 浮世絵展「国図の世界」 (無)

●普通寺市 ☎(0877)62-2121

- 5/5 獅子舞大会-讃岐宮

●財田町 ☎(0875)67-3111

- 3/26 「教育文化講演会」(前日本ハム監督大沢啓二氏) (無)

●多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

- 3/2 劇団四季ミュージカル「冒険者たち」 (有)
 19 讃岐まんこのう太鼓第2回定期公演 (有)
 26 尽誠学園音楽祭 (無)
 4/23 第30回多度津芸能音楽まつり (無)

●土庄町 ☎(0879)62-0238

- 3/2 生涯学習フェスティバル記念講演会
 18・19 土庄町町民文化展
 19 土庄町芸能まつり(以上会場は中央公民館)

●飯山町 ☎(0878)98-2251

- 3/6~18 手作り作品展(役場別館) (無)
 4/10~22 春の俳句展(〃) (無)
 5/8~20 油絵展(〃) (無)
 5/14 囲碁将棋まつり(北地区公民館) (無)
 女ののど自慢(総合運動公園体育館) (無)
 20 「芸術祭」公民館活動発表(〃) (無)
 29~6/10 木彫り展(役場別館) (無)

●丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

- 3/3 美川憲一オンステージ (有)
 18 西郷輝彦特別公演 (有)
 26 丸亀高校吹奏楽部第13回定期演奏会 (無)
 4/3 ユニバーサルバレエ日本公演 (有)
 5/9~21 第28回丸亀市民展覧会 (無)
 (注 丸亀市総合会館でも同時開催)

●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7766

- 3/5~5/7 「猪熊弦一郎の世界」 (有)
 3/11 「及川浩二ショパンを奏でる」 (有)
 5/13~6/11 「マティスの世界」展(仮称) (有)

●四国ガス・ビボット ☎(0878)21-0248

- 3/4・5 ビボットの春のまつり (無)
 (丸亀中津万象園ひいな館雛人形展示他)

催し物情報

●高松市 ☎(0878)39-2636

- 3/14~19 第20回日本報道写真連盟四国展 (無)
 —よんでんプラザ
 4/15・16 いけばな京花傳香川県支部いけばな展 (無)
 —広田会館
 29・30 第2回香川県将棋フェスタ (有)
 —高松市民文化センター別館
 5/27・28 趣味の小品盆栽春の作品展 (無)
 —高松市民文化センター別館

●菊池寛記念館 ☎(0878)61-4502

- 3/4 菊池寛を語る集い「人間菊池寛」 (無)
 5 「菊池寛ドラマ賞受賞作品公演の会」朗読劇 (無)
 25 「子供のための菊池寛劇場」朗読劇 (無)
 4/1 菊池寛記念館文芸講座 (無)
 5/6 /

●高松市図書館 ☎(0878)61-4501

- 3/8 おはなし会(小さい子向) (無)
 11 映画会(となりのトトロ) (無)
 23 おはなし会(小学生以上向) (無)
 25 でんでん虫のおはなしの会 (無)

●高松市歴史資料館 ☎(0878)61-4520

- ~3/26 「鏡の美」-讃岐出土・伝来の和鏡を中心として (有)

●高松市市民会館 ☎(0878)39-2888

- 3/4 ミュージカル「てふてふまいまい」劇団R&C (有)
 21 高松西高吹奏楽部第7回定期演奏会 (無)
 25・26 島田雅行舞踊50周年記念発表会 (無)
 29 高松高校吹奏楽部第20回定期演奏会 (無)
 31 香川大学・高知大学吹奏楽団合同演奏会 (有)
 4/3~5 香川市民劇場4月例会「グレイクリスマス」 (有)
 16 ティーンズ・ミュージックフェスティバル (有)
 23 ジャズダンス発表会 (有)
 5/13・14 カップ座公演 (有)
 21 高松混声合唱団定期演奏会 (有)
 29~31 香川市民劇場5月例会 (有)

●玉藻公園披雲閣 ☎(0878)51-1521

- 3/21 新樹川柳会
 22 香川大学煎茶同好会茶会
 4/16 石州流香川支部茶会
 29・30 未生流香川支部華展
 5/7 木太川柳会
 5/16 賣茶流高松仙友会茶会
 21 名物かまど茶会

●オーブホール ☎(0878)61-0467

- 3/10 斉藤和義コンサート (有)
 5/7 劇団冒険主義公演 (有)

●セントラルホール・ウィング ☎(0878)33-0005

- 3/12 高松一高ギター・マンドリン部定期演奏会 (無)
 4/5 NHK文化センター・カルチャースクール発表会 (無)
 5/14 鈴木秀子氏講演会「心をつなぐもの」 (有)

●高松テルサ ☎(0878)44-3511

- 3/5 ジ・アマデウスコンサート パート6 (有)
 13 高松短期大学卒業記念演奏会 (無)
 16 カール・ライスタークラリネットリサイタル (有)
 17 小濱妙美ソプラノリサイタル (有)
 20 高松北高等学校合唱部発表会 (無)
 22 高松一音楽科OBによるコンサート (無)
 23 田宮堅二トランペット・リサイタル (有)
 4/1 ジャン=ポール・セヴィアのフランス音楽物語 (有)
 9 当道音楽会香川支部邦楽演奏会 (無)
 17 マリア=ガンバリアンピアノプロムナードコンサート (有)
 21 FM「錦町発たそがれコンサート」公開録音 (無)
 22 古澤巖ヴァイオリンコンサート (有)
 28 香川ユニフォニウム・チューバアンサンブル演奏会 (有)

●高松三越 ☎(0878)51-5151

- 3/5 春の茶道具逸品展
 7~13 陶芸巨匠展
 14~20 現代フランス人気作家絵画展
 21~27 黒井一楽父子展・平山郁夫日本の道を描く (有)
 28~4/16 春の大版画展
 4/4~9 日本の料理展
 18~24 飛鳥童油絵展
 25~5/1 アールヌーボー・アールデコガラス工芸展
 5/2~7 尾崎豊写真展 (有)
 9~14 第6回現代工芸ゆめいろ展
 備前焼選抜作家展・現代中国油絵展・現代写真画展
 16~12 中村宗弘日本画展
 23~29 九谷焼山田義明作陶展

●ミュージズホール ☎(0878)68-9200

- 3/19 第15回手話まつり・人形ものがたり
 4/9 クリシュナフルートアンサンブルコンサート
 5/12 現代邦楽グループ箏コンサート

●宮武画廊 ☎(0878)51-2354

- ~3/5 墨絵川柳「水蓮の世界」(前期)カレンダー原画
 6~12 / (後期)江戸川柳
 13~19 牛乳紙容器はり絵入選作品展
 20~26 松本博・柴野昭彦ふたりの個展
 27~4/2 第15回清水水画油絵個展
 4/3~9 末松貴代子漆展
 10~16 手織り手染めの伊兵衛工房展
 17~23 阪神大震災チャリティ石人形展
 24~30 第22回グループすてっぷ展
 5/8~14 細川実個展 —生命—

平成7年度・助成金交付申請を
 お急ぎください。(文化情報第5号参照)
 申請書提出は3月末日までに。

* (有)は有料、(無)は無料、(会)は会費制、(整)は整理券
 が必要(記号表示は判明したもののみ)

「文化情報」第7号は6月1日発行です。

次の期間(6月1日から8月末日)の情報を5月15日までにお知らせください。TEL・FAX (0878) 34-6790